

いばらキラキラ★拠点だより

Vol.1

2025年6月30日発行

編集・発行

関東農政局茨城県拠点地方参事官室

〒310-0061 茨城県水戸市北見町1-9

TEL: 029-221-2185 Email: ibaraki_sanji1@maff.go.jp

TOPICS



× 生産者さんへインタビュー



～ ふしちゃんファーム常陸太田農場 ～

食ミラプロジェクト
Instagramはこちら



SYOKUMIRA_MAFF.KANTO



関東農政局の若手職員による「食ミラプロジェクト」Instagramでは、「食と環境を未来の子どもたちへ」をテーマに持続可能な農業に取り組む生産者やそれを支えるお店などの紹介をしています！

今回は、ふしちゃんファーム代表 伏田さんにインタビューをさせていただきました！

◆環境負荷低減の取組について、お聞かせください。

当社は、茨城県つくば市に本社（つくば農場）があり、小松菜やほうれんそう、ロメインレタスなどの葉物野菜と茨城県内でも珍しい、いちごの有機栽培を行っています。「有機JAS認証」も取得しているんですよ。

常陸太田農場では、水はけの悪い硬い土壌を改良するため、もみ殻燐炭（くんたん）、高機能バイオ炭、植物性堆肥を投入し、葉物野菜を栽培しています。想定していたよりも順調な収穫ができています。高機能バイオ炭の効果だと感じています。

◆今後の展開をお聞かせください。

これまで、子育て世代をターゲットに商品開発していましたが、今後は高齢者向けの商品開発もしていきたいと思っています。

今後5年以内に、茨城県外に2農場、県内に1農場増やし、収穫した野菜を海外のマーケットにも供給していきたいと考えています。



ふしちゃんファーム

代表取締役

伏田 直弘さん

◆有機農業をはじめめる人へアドバイスをお願いします。

今までは、有機JAS認証マークを付けて販売するだけでバイヤーが振り向いてくれていましたが、今は、有機農業に取り組む人も増えてきて、何か他の特徴がないと売れない時代になってきたと思います。今後は、有機JAS認証以外の付加価値を高めていくことが重要になってきますね。



FUSICHAN

ふしちゃん
ファーム
Instagram
はこちら

TOPICS

農林水産業分野でも

地域おこし協力隊が活躍しています！

地域おこし協力隊とは、都市地域から地方へ移住し、地方公共団体が「地域おこし協力隊員」として委嘱され、「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組です。

制度の詳細や募集情報は二次元コードのリンク先、総務省公式HP等からご確認ください。



総務省HP



一般社団法人
移住・交流推進機構(JOIN)
ニッポン移住・交流ナビHP

今月のいばらきスタッフ📷



TOPICS

いばらキラッと★ファーマーズ

いばらキラッと★ファーマーズでは、茨城県内のキラッと輝く生産者さんをご紹介します☆
 今月は、石岡市内で**有機農業に取り組んでいる「若菜ふあーむ」さん**をご紹介します！

若菜ふあーむ
 Instagram
 はこちら



若菜ふあーむ
 渡邊拓海さん・若菜さん(石岡市)

☆ライフスタイルに合う農業経営

現在、約1.6ヘクタールのほ場でにんじん、リーフレタス、小松菜、きゅうりなど約10品目の野菜を栽培し、JAやさとへ出荷しています。

夫婦ふたりで無理なく続けることを大切に、地域の先輩農家の経験や市場のニーズを参考にしながら、自分たちに合った作物を選んでいきます。

JAやさと有機栽培部会は販路が充実しており、年間を通じて計画的に出荷できることから、「稼ぐ楽しさ」や「やりがい」を感じながら取り組んでいます。

今後、家族のかたちが変わったときには、それに合わせて柔軟に経営を見直し、少しずつ栽培面積も広げていきたいと考えています。

☆就農のきっかけ

大学の園芸学部を卒業したお二人。農業から離れた生活をしていましたが、若菜さんがたまたま見ていたテレビ番組をきっかけに、就農を決意。NP0法人アグリやさが運営する朝日里山ファームで2年間の研修を受け、令和5年4月に就農しました。現在は、JAやさと有機栽培部会に所属しています。

☆有機農業の魅力

家畜ふんを使った堆肥で土づくりを行うことで、地域の資源を無駄なく活用しながら、野菜を育てることができます。

環境にも人にもやさしい農業のかたちをこれからも自分たちなりに模索し続けていきたいと考えています。

(注) JAやさと：やさと農業協同組合（茨城県石岡市）

EVENT

応募受付中 ディスカバー農山漁村の宝AWARD 第12回選定

むら

「ディスカバー農山漁村の宝」とは、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の地域資源を活用した、地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国に発信するものです。本年も、他の地域の参考となるような素晴らしい取組事例を募集しています！

◆募集取組◆

- ① 美しく伝統ある農山漁村の次世代への継承
- ② 幅広い分野・地域との連携による農林水産業・農山漁村の再生
- ③ 国内外の新たな需要に即した農林水産業の実現

★募集〆切日★

令和7年8月12日(火)



農林水産省HP



EVENT

エントリー受付中 輸出に取り組む優良事業者表彰

農林水産物・食品の輸出の発展に向け、顕著な実績を挙げている農林水産物生産者、企業、団体、個人を広く発掘し、その取組内容を表彰します！

「地域ぐるみでの輸出産地の形成」
「輸出可能品目の拡大」
「新たなジャンル（健康食品、中食）の開発」
「輸出ロットの拡大等による価格競争力の強化」
「新市場の開拓」
「輸入規制の緩和・撤廃への働きかけ」など

取組内容を食品の輸出に関心のある方々に広く周知することにより、新たに輸出にチャレンジする方々への一助となることを目的としています！

自薦・他薦問いません!!ぜひご応募ください!!

📅 エントリー〆切日 📅

令和7年7月31日（木）

公益財団法人

食品等流通合理化促進機構HPはこちら ➡



農林水産物の補助により実施しています。

令和7年度

**輸出に取り組む優良事業者表彰
エントリー開始!**

農林水産参加行事

エントリー
7/31 締め切り

農林水産物・食品の輸出の発展に向け、「地域ぐるみでの輸出産地の形成」、「輸出可能品目の拡大」、「新たなジャンル（健康食品、中食）の開発」、「輸出ロットの拡大等による価格競争力の強化」、「新市場の開拓」、「輸入規制の緩和・撤廃への働きかけ」などの観点から顕著な実績を挙げている農林水産物生産者、企業、団体、個人を広く発掘し、その取組内容を表彰し、取組内容を食品の輸出に関心のある方々に広く周知することにより、新たに輸出にチャレンジする方々への一助となることを目的として「輸出に取り組む優良事業者表彰」を実施します。

表彰候補 農林水産物・食品の輸出に関わる業務に携わる団体（企業、法人、任意団体等）又は個人
※本表彰は農林漁業者だけでなく、2次産業、3次産業の事業者も対象にしています。

表彰 農林水産大臣賞 輸出・国際局長賞 食品流通機構会長賞 CHALLENGE賞 自薦・他薦問いません!

表彰式 2025年12月上旬（東京都内）予定

後援 全国商工会連合会、全国中小企業団体中央会
日本政策金融公庫、日本農業法人協会、日本貿易振興機構（JETRO）

公益財団法人 食品等流通合理化促進機構
〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-4-5 第1東ビル6階 電話 03-5809-2176

EVENT

応募受付中 農作業安全ポスターデザインコンテスト

農作業安全ポスター デザイン募集!

過去の農林水産大臣賞受賞作品

令和6年 令和5年 令和4年 令和3年

令和2年 令和元年 平成30年 平成29年

募集期間:8月29日まで

受賞作品は、全国の農村部で掲示される「農作業安全ポスター」として使わせていただきます

応募資格者:どなたでも 最優秀賞:農林水産大臣賞

応募方法の詳細:以下のホームページをご覧ください

日本農業機械化協会 検索! または右のQRコードから

農林水産省補助事業 農作業安全総合対策推進
実施機関 一般社団法人日本農業機械化協会 株式会社日本農業新聞

毎年開催しています「農作業安全ポスターデザインコンテスト」を今年度も開催しています！
今年度の主催団体は、一般社団法人 日本農業機械化協会です。

農林水産大臣賞受賞作品は、同協会が発行する農作業安全運動啓発ポスター等に採用し、安全意識の啓発活動に活用されます！

どなたでも応募可能です！

【今年度募集テーマ】

「忘れていませんか？安全対策」

📅 募集〆切日 📅

令和7年8月29日（金）

【表彰点数】

- ・農林水産大臣賞 1点
- ・日本農業機械化協会賞 1点
- ・日本農業新聞賞 1点
- ・入賞 10点から20点



農林水産省HP

TOPICS

米の販売農家・農業法人その他経営体の皆様へ

今後の米の生産に関するアンケートにご協力ください



農林水産省は、今後の米政策を検討するにあたり、米の販売農家・農業法人その他経営体の皆様へ今後（来年、5年後、10年後）の米の生産意向に関するアンケート調査を実施しています。

1. 調査の目的

令和9年度（2027年度）から実施する水田政策の見直しを含め、今後の米政策を検討するに当たっては、米生産者の皆様の声を聴くことが不可欠です。

このため、全ての米の生産者の皆様（※）を対象に、今後（来年、5年後、10年後）米の生産意向に関する調査を実施することとします。

※米の販売農家・農業法人その他経営体

<個人情報取り扱いについて>

本アンケートに記載いただく個人情報は、法及び訓令に則り農林水産省が厳重に管理し、米政策の在り方を検討する目的にのみ用いるものです。アンケート結果については、個人を特定できない形で集計し、上記目的の範囲で関係機関へ提供・公表することを予定しております。

2. 調査の概要

（主な調査項目）

- ・現在の経営状況（年齢、水稻作付面積、うち主食用米作付面積等）
- ・今後（来年、5年後、10年後）の米の生産意向（拡大、現状維持、縮小等）
- ・拡大・生産継続するに当たっての課題
- ・自らの生産コストの把握状況など

（調査手法）

インターネット上のフォームを用いたアンケート

📄 アンケート切日 📄

令和7年7月31日（木）

（アンケートURL）

<https://forms.office.com/r/8mhBjG9n0i> （外部リンク）

アンケートはこちらから



TOPICS

水稻収穫量調査の公表見直しについて

～主な内容～

○作況指数の公表を廃止

○10a当たりの収量及び米の収穫量は、生産現場の実感に合わせ、制度を向上させ継続



BUZZ MAFFはこちら

<https://youtu.be/ZpMalt-gGPQ>



農林水産省公式YouTubeチャンネル BUZZ MAFFでは、令和7年産からの作況指数公表の廃止について、わかりやすく解説しています。是非一度ご視聴ください。

地方参事官ホットライン

農政に関するご相談、事業や制度へのご質問などがございましたらお気軽に地方参事官ホットラインまでお問い合わせください。

また、広報紙に関するご意見等もお待ちしております。

TEL:029-221-2185

お問い合わせフォーム 茨城県拠点HP

